

## 第2回 北大阪急行線延伸技術検討会 議事要旨

### 1. 日時

平成26年2月14日（金） 午後2時00分～午後4時00分

### 2. 場所

大阪弥生会館 2階 三笠（大阪市北区芝田2-4-53）

### 3. 出席者

#### （座長）

一般財団法人地域地盤環境研究所 代表理事 足立 紀尚

#### （構成員）

一般財団法人災害科学研究所 理事長 松井 保

京都大学大学院教授 木村 亮

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 鉄道建設本部大阪支社長 深沢 成年

#### （オブザーバー）

大阪府池田土木事務所長 大森 浩一

（代理出席：大阪府池田土木事務所参事兼地域支援・企画課長 山内 一浩）

箕面市地域創造部鉄道延伸・まちづくり政策統括監 柿谷 武志

阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部部長 庄 健介

北大阪急行電鉄株式会社取締役鉄道部部長 十合 貴弘

（代理出席：北大阪急行電鉄株式会社鉄道部施設課長 田口 俊治）

#### （欠席）

京都大学大学院教授 竹村 恵二

大阪市交通局理事兼鉄道事業本部長 塩谷 智弘

大阪府都市整備部交通道路室都市交通課長 吉備 敏裕 （欠席）

以上、構成員6名うち2名欠席、オブザーバー1名欠席

### 4. 議事

- (1) 開催要領の改正について
- (2) 北大阪急行線延伸の基本計画について
- (3) 追加地盤調査計画について
- (4) その他
- (5) まとめ

### 5. 議事要旨

- 国道171号と交差する箇所は、交通量が多く混雑しているところであるため、車両事故防止を考慮し、橋脚位置を決定すること。
- ヤマダ電機、タワーマンションの基礎が本事業に影響しないとのことだが、今回の追加調査で地盤の地耐力が分かるようにすること。

- (仮称)箕面船場駅部について、土留杭打設や掘削時でも道路面を確保すると共に、法面構造でもあるため十分留意した設計・施工計画を立てること。
- 千里中央駅北のシールド到達側は、今のところ問題無く施工出来る。
- (仮称)箕面船場駅から地上に出るまでの開削トンネル区間で地層が解明されていないため、土留杭の根入長さの検討の際に地下水位の把握等が必要であるため、明らかにすること。
- 高架部の橋脚の基礎(杭)をどういう設計にするのかを念頭に置いた追加調査を行うこと。追加調査箇所は目的を明確にし、特に(仮称)新箕面駅の基礎(杭)はどの位置で止めれば良いのか、設計に反映できる追加調査を実施すること。
- (仮称)箕面船場駅周辺の既存建物やその基礎構造に配慮した施工方法の検討を行うこと。

以 上